

中学1年2組 音楽科学習指導案

指導者 椎木千鶴

曲の雰囲気の変化を感じ取り、その部分に合った歌い方を考えて歌う活動を取り入れたことは、歌唱表現を深めていくことに有効であったか。

1 題材名 リズムの違いを感じて歌い方を探ろう ～「明日という大空」～

2 題材のねらい

旋律や伴奏のリズムの違いを聴き取り、曲の雰囲気の変化を感じて、思いや意図を持って工夫して歌うことができる。

3 授業の構想

(1) まだ入学してまもない1年生だが、歌うことに対してとても意欲が高く、声を出すことに抵抗のない生徒が多い。4月に取り組んだ「主人は冷たい土の中に（静かに眠れ）」（武井君子日本語詞／S. C. フォスター作曲／浦田健次郎編曲）では、歌詞のどの部分にどのような気持ちを込めたいかという質問に次のように答えていた。

・「呼んでも帰らぬ遠い日よ」は、この曲の中で一番悲しい歌詞で、主人が亡くなったことが一番わかりやすい部分だと思うので、とても悲しい気持ちを表現しながら、でもこれから前を向いて歩きだそう、というような気持ちを込めたいです。

自分なりに歌詞を理解し、気持ちを込めて歌おうとしていることがうかがえる。また、歌詞と速さを結びつけて、音楽記号に込められた作曲者の思いを想像させると、次のように書いていた。

【Andanteについて】

・昔のことを思い出しながら歩いている感じだと思います。速くなると元気な感じになり、遅すぎるとのんびりするので、このテンポによって、より寂しさが伝わってきます。

【フェルマータについて】

・わざとためて、気持ちが悲しさに入っていけるようにするためだと思います。
・フェルマータで祈っている感じを表していると思います。

実際に歌っていくと、とても優しい声かつ柔らかい響きで歌うことができてきた。

今回の題材では、自分なりに曲に対するイメージや思いをもって、どのように表現したいか考えることを大切にしたい。そのような活動を通して、音楽記号を教科書に書いてあるような意味のみで捉えることなく、その音楽をどのように表現していくのかを考える手立てにしていく力も付けていけるようにしたい。

(2) 本学校園音楽科は、子どもたちが美しい表現を追い求め、全体の響きに調和させて、音楽を味わいながら豊かに表現していく姿を目指し、特に「歌唱」の学習を中心に研究を進めている。中等部の段階においては、「歌唱」分野での思考力・判断力・表現力を「曲種に応じた発声により、歌詞の内容や曲想を味わいながら、声部の役割を生かしたり、美しい表現を工夫したりして、全体の響きに調和させて歌う力」としている。

本題材は、学習指導要領のA表現（1）ア「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと」に関連しており、特に「リズム」と「強弱」に焦点を当てて、思考力・判断力・表現力が高められるようにしたい。

教材は、「明日という大空」（平野祐香里作詞／橋本祥路作曲）を扱う。この曲は、音域も広くなく親

しみやすい歌詞から、自分の思いを出しやすくなり、学び合いも活発にできると考えた。冒頭から推進力をもって前に流れるような伴奏に歌詞が乗り、16小節目の伴奏の上昇スケールにあおられるように力強さをもって17～20小節目が歌われる。そして、広がりを感じさせる旋律線を描いて曲を閉じる。また、17・19小節目の旋律に8分音符が多用されていることや17～20小節目の伴奏にアクセントやスタッカート、テヌートが多数付されていることから、躍動感も感じられる構成となっている。曲の雰囲気の違いと音楽を形づくっている要素を結びつけて考えることによって、音楽表現（歌い方）の工夫につなげていけるのではないかと考える。

(3) このように生徒の実態と本題材のもつ魅力とを踏まえた上で、以下のように展開する。

第1次では、導入として『翼をください』（山上路夫作詞／村井邦彦作曲／鶴原勇夫編曲）を聴いたり歌ったりして、旋律、伴奏のリズムや強弱が変わることによって曲の雰囲気が変化することを感じ取ることができるようにする。そして、『明日という大空』を聴いたのち、旋律を歌って曲の雰囲気をつかめるようにする。

第2次では、第1次で感じたことを歌声で表現していく。まず、曲の雰囲気がどのように変化しているか考えさせ、特に17小節目からの雰囲気の違いを、音楽を形づくっている要素と結びつけて考えさせる。次に、教師が意図的に編成した三つのグループで話し合ったり歌ったりしながら、どのような表現（歌い方）がふさわしいか追求していく。グループ→全体→グループ→全体の演奏形態を繰り返すことによって、お互いのよさを感じ取ったり、気付いたりできるようにしたい。

本時は、前時に他のグループ発表のよさを見つけたことを、自分たちのグループ練習に取り入れて表現をさらに追求できるようにする。そして再度発表したのち、取り入れたい歌い方を全体で探っていく。探っていく際、生徒と対話しながら、何度も繰り返し演奏してみる。聴き合う活動や全体で何度も繰り返し試みってみることで、他のグループが工夫しているよさに気付いたり、自分たちの演奏に生かしたりして、歌唱表現が深まっていくことを期待したい。

4 展開計画（全3時間 本時3／3）

次	主な学習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学び合い）
1	旋律や伴奏のリズムの違いを感じ取ろう。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「翼をください」を聴いたり歌ったりして、旋律、伴奏のリズムや強弱が変化することによって曲の雰囲気が変わることに気付く。 ・「明日という大空」を聴いたのち、旋律を歌う。
2	リズムの違いから感じたことを歌声で表現しよう。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「明日という大空」の17小節目からの雰囲気の違いは、音楽を形づくっている要素の何の違いから生まれているのかを考える。（個→グループ） ・17小節目からの歌い方について、グループで話し合ったり歌ったりしながら追求していく。（グループ） ◇他のグループの発表を聴いて、よさを見つけ合って発表する。
		③	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に追求した歌い方を確認し、練習する。（グループ） ・グループごとに発表する。 ◇各グループの演奏や意見を織り交ぜながら学級全体で歌い方を深めていく。（全体）

5 本時の学習

(1) ねらい

曲想を感じて、どのような歌い方がふさわしいか考えて表現を工夫することができる。

(2) 展 開

学習場面と子どもの取組 (◎は、学びをいかしている子どもの姿)	教師の支援と願い・評価
1. 本時の学習の見通しをもつ。 2. 歌唱のための基礎練習をし、「明日という大空」を全員で歌う。 3. 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の見通しがもてるように、本時の流れを提示する。 ・歌う雰囲気が高めるような声かけをする。
曲の雰囲気の変化を感じて、表現を探ろう	
4. 前時にグループで工夫した歌い方を確認しながらグループ練習をする。 5. グループごとに発表する。 6. 各グループの発表を参考にして、取り入れたい歌い方を全員で歌いながら探る。 ◎「遠く高く」の伸ばしの部分の伴奏が上がっている感じ。だからクレシェンドしよう。→そうすると、「心の翼で」がより力強くなる。 ◎「心の翼で」の部分は8分音符になっているから言葉を一つ一つ切ろう。→歯切れよくなって、元気な感じになる。 ◎「輝く朝に出会えるまで」は、伴奏が最初の形に戻る。→「輝く朝に」「出会えるまで」のかたまりで広がりのある感じで歌った方がいいと思う。 7. 全体でふりかえりをする。 ◎ ○○さんは、伴奏の違いに気付いていてすごいと思った。 ◎ ○○さんは、「心の」の部分をどうやったら歯切れ良くなるか考えていて、歌い方も工夫していた。	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏に合わせて練習するように、各グループに伴奏音源を準備する。 ・前時に工夫したことを書き込んだ拡大楽譜を配り、工夫したことを確認しながら歌えるようにする。 ・前時に他のグループの演奏を聴いて取り入れたいと思った表現もしてもよいことを伝える。 ・グループリーダーが工夫した歌い方を発表した後、歌う。その際に、歌い方を書いた拡大楽譜を提示しながら発表できるようにする。 ・17小節目からの変化に気付きやすくするために、13小節目アウフタクトから歌うようにする。 ・聴く生徒に対しては、自分たちとの表現の違いをよく聴くように声かけをする。 ・違う表現（歌い方）を数通り歌わせ、生徒に選ばせる。 ・いくつかの伴奏で歌い、伴奏の違いによる雰囲気の違いに気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価の観点（音楽表現の創意工夫）</p> <p>曲の雰囲気の変化を感じ取り、他の意見も取り入れながら、よりふさわしい歌い方を工夫している。</p> <p>【評価方法：観察・発言・歌唱表現・ワークシート】</p> <p>支援</p> <p>伴奏の形を変えたり、強調して弾いたりすることで感じ取れるようにしていく。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな表現方法があるということ、他の曲でも自分なりに工夫ができることを伝える。

(3) 思考力・判断力・表現力の評価

評価基準	A	B	C
	他者の意見も取り入れながら、自分なりに歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	他者の意見のよさに気付き、自分なりに歌い方を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	他者との違いやよさに気付けないまま歌っている。